

創エネ神戸 夏休み工作塾 ソーラー風車 令和2年8月8日

8月8日、しあわせの村 研修館にて、「夏休み工作塾 ソーラー風車作り教室」を10時と13時からの2回開き、13名の児童（小学4～6年生）が参加しました。

初めに、地球温暖化、二酸化炭素、太陽光発電などについてパワーポイントにて説明。

その後、ソーラーハウスと風車小屋を完成し、ソーラーハウスにソーラーパネルを取付け後、スチロールの台の上とソーラーハウスと風車小屋を組み立て、リード線をつなぎました。

最後に風車を取り付けて完成しました。

屋外で、「ソーラー風車」に太陽光を当てて、風車が回った時には歓声があがっていました。

創エネ神戸は、山田、福田、水上、香川、近藤、岡本が参加しました。



最初に「地球温暖化」について説明しました。 なぜ暑くなっているのか。
二酸化炭素・・・ 暑くならないようにするために何をしたら良いかなど
再生可能エネルギー・・・ など



「ソーラー風車」作り開始です。
まずスチロールの台を作ります。



木工ボンドで接着しました。

風車小屋（紙コップ）
の外周用の紙を切り、
紙コップの外周に
のりで貼りつけまし
た。



風車小屋の上部にはモーターが付いています。

ソーラーハウス用の緑色の紙を切りました。



その紙を牛乳パックで作ったソーラーハウスの
のりで貼りつけました。名前も書きました。



次にソーラーハウスの上に、ソーラーパネルを両面粘着テープで固定しました。

スチロールの台の上に、風車小屋を接着剤で貼りつけました。

ソーラーハウスも両面粘着テープで固定しました。



スチロールの台の下に出した、ソーラーパネルと風車用モーターのリード線をつなぎ、絶縁テープで固定しました。リード線の接続は指導員が行いました



最後に風車を取り付けて完成です。

中庭に出て、ソーラーパネルに太陽光を当てて風車を回しました。



当日は少し晴ていて太陽の光で全員のソーラー風車が回り、「回った！回った」と歓声があがっていました。

太陽のエネルギーを感じてもらったようです。



全員が「楽しかった」と言って、ソーラー風車を大事そうに持って帰りました。

(生環 18 岡本紘一)